

豊田新屋立体

事業概要

豊田新屋立体は、富山外郭環状道路の一部を構成する国道8号のうち、富山市小西から富山市粟島町間において、交通渋滞の緩和、死傷事故の削減の他、幹線ネットワークの強化を目的に、交差点の立体化を行うものです。

計画諸元・事業経緯

計画諸元

起点・終点	富山県富山市小西～富山県富山市粟島町
延長	2.9km
道路の区分	第3種第1級（4車線）
設計速度	80km/h
道路幅員	立体部 19.5m
	1.25+7.0+3.0+7.0+1.25
	側道部 10.0m
	0.75+3.25+1.5+4.5

事業経緯

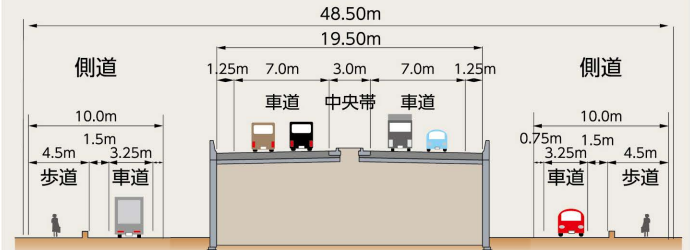
平成20年度	都市計画変更
平成21年度	事業着手

豊田新屋立体区間標準断面図

● 橋梁部



● 土工部



事業の流れ



目的

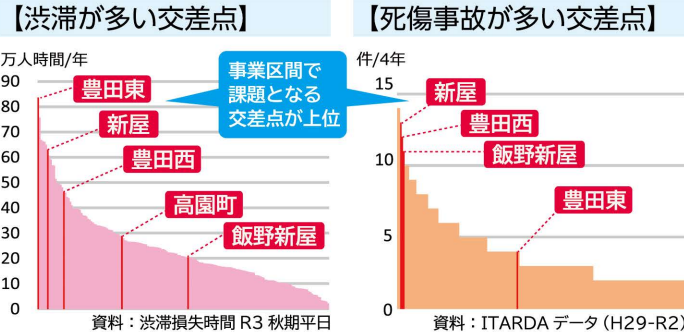
- ◎ 幹線ネットワークの充実強化
- ◎ 交通渋滞の緩和
- ◎ 死傷事故の削減

富山外郭環状道路



富山都市圏における国道8号の交通状況

当該区間は、富山県の東西を結ぶ国道8号の中でも、富山市中心部へのアクセス交通が混在し、県内で最も交通量が多い区間です。また、慢性的な渋滞及びそれに起因する追突事故が多発する交差点があります。（グラフ内に上位で課題となる交差点を示す）



富山外郭環状道路 一般国道8号

豊田新屋立体



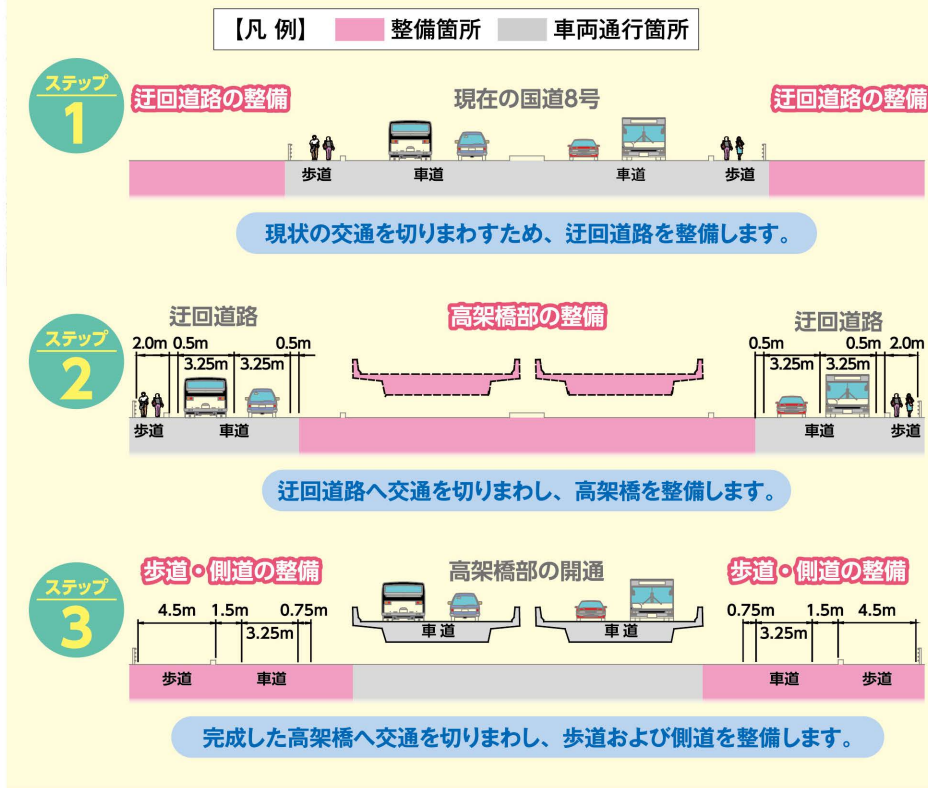
国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
TEL:076-443-4701(代)
<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

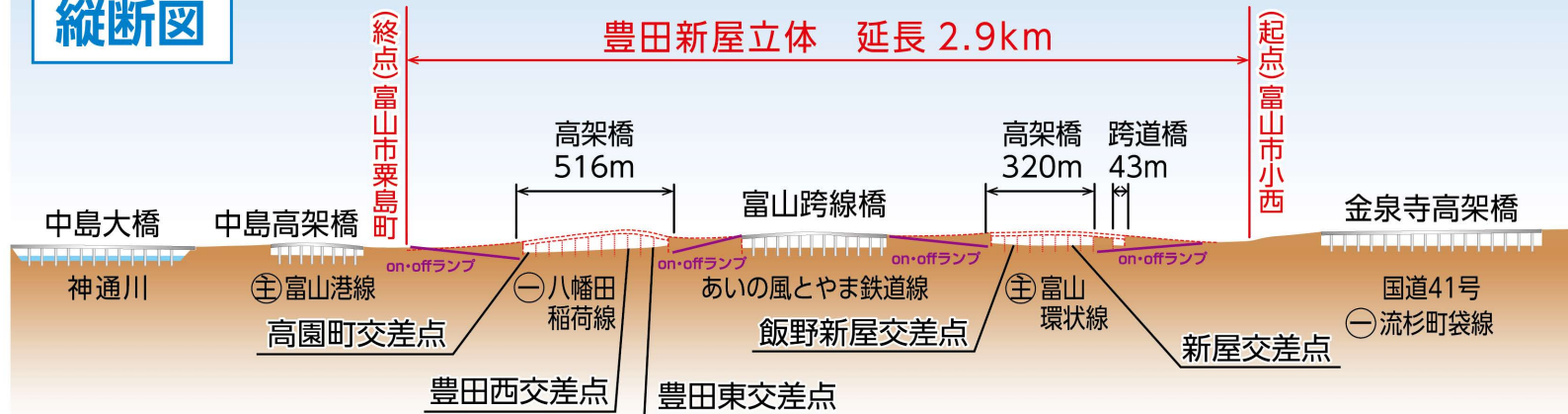
豊田新屋立体平面図



豊田新屋立体 施工ステップ概要



縦断図



完成イメージ

